

平成 22 年度 菜の花プロジェクト

菜の花の移植の仕方

(よりよい成長をめざして)

今回、菜の花の芽が出てきましたが、密集して生えていました。

密集して生えると成長に影響があるので、農業大学の先生方にご協力いただき、アドバイスしてもらいました。

今回は、よりよい成長のために「移植」の方法を聞いてきたので、参考にしてください。

倉吉市立鴨川中学校

生徒会会長

生徒会副会長



密集している所をさがす



密集箇所の真ん中を掘る



移植のため、根っこから掘る



真ん中をあけると、全体に栄養がいきやすい！



何も生えていない所をさがす



移植のために穴を掘る



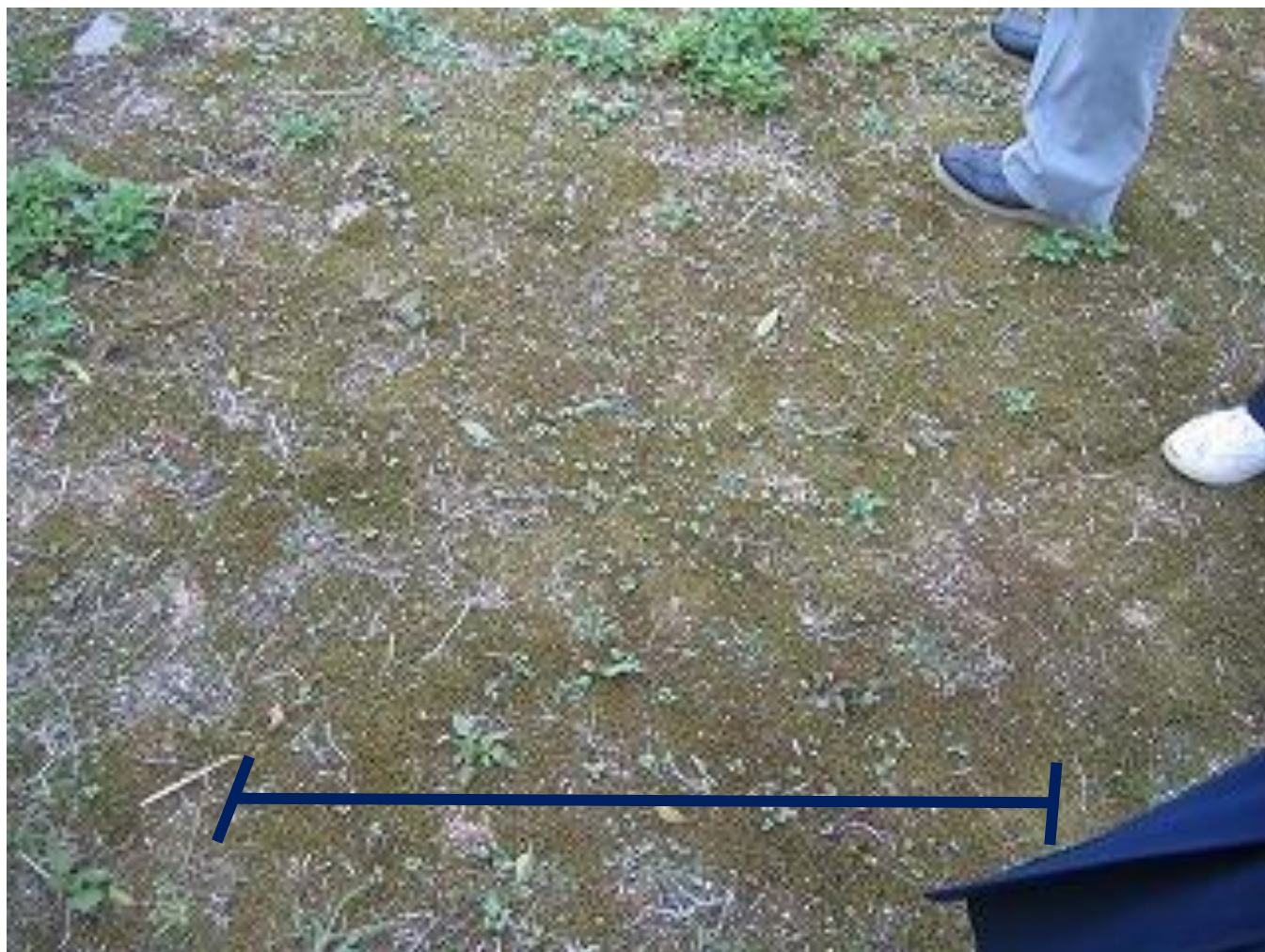
●移植のポイント

- ・まず、密集していると成長が遅くなる。
- ・移植をするときは、真ん中を掘ると均等に栄養がいきやすい。
- ・移植場所がない場合は、そのまま間引いてしまうのも方法。

●下の写真のように黄色くなってしまったものは、栄養がなくなっているもの。こうなったら、成長しないので、間引いてしまう。



●下の写真のように、1 m²あたり3~4本あれば十分で、10本以上は多すぎだそうです。



●さいごに成長の目安をお伝えします。

- ・11月上旬くらいには、本葉が出ている。
- ・12月雪が降る前に葉が4~5枚出ている。

これらが、順調な成長だそうです。

来年、きれいな花でいっぱいになるように
したいですね！！